

育成モノづくり人材

Vol. 67

東京都立総合工科高校

東京都世田谷区・成城に立地する東京都立総合工科高校は「理系材を育てるなど、高級住宅地からモノづくり人材を羽ばたかせる。」に掲げる。製造業の基



平田校長

礎技術に学力を加え、国際的に活躍できる人材を育てるなど、高級住宅地からモノづくり人材を羽ばたかせる。平田誠一校長は「背骨は工業高校。技術はしつかり身につけてもら

【DATA】▷校長＝平田誠一氏
▷所在地＝東京都世田谷区▷学科構成＝〈全日制〉機械・自動車科、電気・情報デザイン科、建築・都市工学科〈定時制〉自動車コース、電気・メカトロコース、建築コース、総合技術科▷生徒数＝全日制556人、定時制74人▷主要設備＝レーザー加工機、溶接ロボット、マシニングセンターなど▷主な進路＝日野自動車、日立ビルシステム、東京トヨペット、東京スバル、東京電力、関電工、首都大学東京、芝浦工業大学、神奈川工科大学、日本工業大学など

理系大学入試対策を充実

うが、勉強してもらがら自由に進路を選択う。理系大学はハンダできる。技術をさらに付けなど技術を使う部高めたい生徒のために分もある。アドバンテは、選択科目内で技術コースになるため、両方系科目を用意している力を入れてほしい」。第一種・第二種電と笑顔を見せる。製造業など工業系科目格取得も可能だ。

放課後は数学や英語を教える「総工アドバンス」も実施中。2、3年生の進学希望者を対象に、大学入試対策を行う。現在の進学率は4割程度だが、将来は5割に引き上げ

たいという。名実ともに大学にも行ける工業高校を目指し、学習環境を整える。近年、修学旅行の行き先を海外にした。国際交流の機会を提供し、生徒の目を海外に

向けさせる。行き先は製造業に活気があるアジア圏。今年も台湾で、地元の高校生との交流や地元企業の見学を行う予定だ。世界でも役立つカリキュラム



溶接ロボットを用意する。平田校長は「今ある仕事を半分が人工知能(AI)などを利用した機械に変わると言われている時代。人間にしかできない付加価値のある仕事を身に付ける必要がある。人間に挑む。また、今年からインク。イノベーションを起す力を付けさせた(就業体)と意気込む。2年生の生徒は活気にあふれ全員が、製造業の現場にも、進学する生徒に体験するも、探究する力を意識した教育を提供し、国際舞台でイノベーションを起す新たな人材を育成していく。(南東京門脇花梨(金曜日)に掲載)